

目次
頁

- 1 卷頭言
- 2 近況報告
- 3 共立印刷株三浦会長
インタビュー
- 4 感謝報告
- 5 感謝報告
- 6 相談員さんに聞く

三重いのちの電話



「監事就任のご挨拶」

三重いのちの電話協会

監事 濱野 章



本年度、三重いのちの電話協会の監事に就任しました、濱野章です。

当協会には、10数年前に会員になり、今回監事就任につき、会報の投稿を頼まれました。いつも会報を拝読させて頂いています。ボランティア電話相談員約60名が交替で月に500件以上、年6,000件以上の電話相談に対応して頂いています。あらためて相談員の皆さん、そして活動をサポートしていただいている関係者の方々に心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

私は今、津地区社会福祉協議会の役員を仰せつかっています。社会福祉協議会も、多くの社会課題をかかえています。生活困窮者問題、子どもの貧困問題、孤独・孤立問題、認知症の人の生活問題、親亡き後問題、過酷な介護問題etc. 社会福祉協議会の本年度役員の研修会において三重いのちの電話協会の紹介で、三重県こころの健康センター楠本みちる氏をお迎えして、「ひきこもりの理解」というテーマでお話を聞かせて頂きました。資料の数字を見てビックリしました。令和4年度内閣府が実施しました調査の推計値は、ひきこもりが、(15歳～39歳)62万人、(40歳～64歳)84万人、合わせて146万人以上、三重県でも2万人以上いることが調査でわかりました。また文部科学省の調査で、不登校とされる小中学生が30万人近くに上ることがわかりました。夏休み明けにはNHKTVで、こども達の不登校の番組をしていましたし、週刊誌でも取り上げられていました。ひきこもりの問題点を理解し、適切な支援を提供する事の重要さを改めて考えさせられました。三重県も各市町も、こころのケアガイドブックを作り対応をしています。

いのちの電話の相談員の皆さんの活動は、悩み、苦しむ人々に寄り添い、話を聴き、不安を取り除き、心の健康に関する支援を行う、本当に尊いボランティア活動だと思います。改めて日々献身的に電話相談にあたって頂いている相談員の皆さんと相談員の研修に心血を注いで頂いているスーパーバイザーの先生方、ご苦労様です。これからは相談員の皆さん自身の心の健康とバランスを保ち、安心して活動できますようにご協力していきたいと思います。よろしくお願ひします。

ひとりで悩まないで、心の苦しみを、お話しください。



通常ダイヤル 059-221-2525 毎日 18時～23時

ナビダイヤル 0570-783-556 每日 10時～22時

フリーダイヤル 0120-783-556 每月10日 8時～翌朝8時

自殺予防 三重いのちの電話

●第38回いのちの電話相談員全国研修会ふくしま大会●

10月26日から28日までの3日間、福島県郡山市において、相談員全国研修会が2019年開催の「おかげやま大会」以来実に4年ぶりに開催された。テーマは「ラポール・絆を結ぶ」、サブテーマが「共に考える。ふくしまの光と影」。全国からの参加者は約500人。三重からは8人が参加した。作家であり僧侶の玄侑宗久氏の基調講演から、震災・原発事故現地視察など数々の分科会プログラムを経て、最後のフリーアナウンサー大和田新氏の記念講演まで、内容の濃い研修会であった。



ひょっこ踊り



福島県おかあさん合唱連盟



活動日誌 令和5年6月1日～12月

- 6月 4日 フレンテフェスタ2023 フリーマーケット
- 6月11日 相談員一日研修
- 6月29日 日本いのちの電話連盟研修担当者研修会（Web）
- 7月12日 名刺型自殺予防啓発カード配布依頼（県教委及び県私学協会へ）
- 7月23日 フリーダイヤル研修（Web）
- 9月 8日 自殺予防週間啓発活動（松阪駅）
- 10月19日 津・亀山5ライオンズクラブ合同例会記念アクティビティ贈呈式
- 10月26日～28日 いのちの電話相談員全国研修会ふくしま大会
- 10月29日 運営委員会
- 11月 2日 津北ロータリークラブ卓話「三重いのちの電話の活動」（事務局長）
- 11月30日・12月 3日 第14期生養成講座第1課程修了面接
- 12月 3日 津市三杉人権を考える集い（栗本真弓スーパーバイザー）
- 12月 3日 理事会

INTERVIEW

インタビュー

共立印刷株式会社

取締役会長 三浦 義秀



共立印刷株式会社 三浦義秀取締役会長に聞く

まず印刷業のことを教えていただきたいと思います。昨今のペーパーレスとかカーボンニュートラルという流れに対する印刷業界としての対応については、どうですか。

これまで広報類とかチラシ類は印刷をして大量宣伝をしていましたが、今はパソコンや携帯電話で宣伝するようになって、市場が狭くなってきました。ただ地域紙であるとか紙媒体がまだまだ必要な部分もあり、業界としては残っていくと思っております。

コロナの影響はありましたか？

観光のお客様のお土産包装紙の需要が特に減りましたね。最近はぼつぼつ戻りつつある状況です。

御社のお話を伺います。創業が古くて歴史がおありになる会社ですね。

はい、高畠熊次郎が津市丸之内本町で大正6年に創業しました。昭和8年に熊次郎が亡くなり、その後を私の父親が継いで、今は熊次郎の孫、私のいとこが社長をしております。

企業の平均寿命が30年といわれる中で、100年以上続いておられるのはすごいですね。その間に印刷の技術も変わりましたか。

そうですね、当時は活版印刷、今はオフセット印刷が主流ですね。活版印刷の場合はストップシリンダーといって、行って止まって帰ってきて印刷する、ですから回転が遅いんです。オフセットの場合は連続回転ですから速く印刷ができ、それで生産能力が上がりました。

技術革新が起ったのですね。

活字（活字＝鉛の字形）を使うことがないので全部処分しました。昔は、文選といって活字を拾う人とそれを組む人それだけで10人くらいいました。今はパソコンを使ってひとりで全部できてしまいます。

会長ご自身のことを伺います。こちらに入社されたのはいつですか。

大学を出て父親の知り合いの出版社に入ったんです。印刷を発注するほうに行きたかったんです。それが1日務めて翌日に、その出版社の子会社の印刷会社に出向させられました。3年ほど勤めて津に戻ってきました。当時はまだ活版印刷が中心でした。その頃からオフセット機はあったんですが、東京で使っているような設備や技術がまだ足りなくて、いろんな設備を入れながら変えていきました。

おいくつで社長になられたのですか。

40歳です。それから30数年、いい時代もあったのかどうかわかりませんけれども、走り続けてきました。現在の業務内容は広報類が多くて、機関紙、自費出版本、報告書とか津市の議会だよりなども受注しています。7年前に会長職になりましたが、重たい荷物を持たなくなつたくらいで仕事内容は前と一緒です。

では最後にいのちの電話とのかかわりを教えてください。

最初のころはいのちの電話の方々が、自分たちで版下を作つて印刷までされていたと思います。鈴木秀昭さんが理事長になられて、広報を手伝ってくれと頼まれて引き受けたのが始まりで、それからずっとお手伝いさせて頂いて16～17年たちます。

これからもより広報誌作りに努めてまいりたいと思っております。

本日はお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。

温かいご支援をありがとうございます

(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

日頃のご支援ありがとうございます。下記の方々から、三重いのちの電話協会に温かい財政援助をいただきました。ご厚志は電話相談活動の貴重な資金として使わせていただきます。心から感謝申し上げ、ご報告いたします。

電話相談活動を発展させるため、これからもご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

三重いのちの電話協会理事長 伊藤 歳恭

【正会員】

倉田 文二郎	木崎 よね	川合 敏子	吉見 則子	西村 昭彦	伊藤 嘉章	山下 満
伊藤 歳恭	渡邊 和己	仲 律子	加藤 信子	井村 正勝	雲井 純	柏木 はるみ
村瀬 勝彦	津田 真寿美	中瀬古 初美	好仁 正子	猪野 洋子	秀人	上村 俊明
清水 将之	棚橋 稔	鈴木 秀昭	亞朗	猪野 美春	憲之	西田 寿美
津田 能成	細野 浩	大原 多智子	林 美砂子	辻 正敏	勉	伊藤 彰希子
谷口 味治夫	綱島 瑞美子	珍道 世直	牧野 勢津子	村田 憲二	匿名希望	1名
今井富久翁税理士事務所		(株)阪本事務機	共立印刷(株)	旭工機(株)	三重リコピ一(株)	(株)フローラ
株宮崎本店	(株)歌行燈	(社)三重県医師会		(株)芸濃	日商器材(株)	(株)津市環境公社
国際ソロプロミスト三重		(株)カンキヨー	トヨタカローラ三重(株)		(医)久居病院	(株)リフォックス
(医)康誠会 東員病院		(医)樹玲会	上瀬クリニック	(株)山口工務店	田辺設備(株)	宇野重工(株)
三重県職員労働組合		南勢病院	(株)関谷食品	今村・倉田会計事務所		(株)ダイハツ三重
(医)熱田小児科クリニック		津西ライオンズクラブ		三重交通(株)	住友電装(株)	(株)シーティーワイ
日本トランシスティ(株)		(株)デンソートリム		秋山運輸(株)	(株)シリックス	河村産業(株)
(株)四日市事務機センター		(株)ゼニヤH・C	みえ診療所	田中林業(株)	三重県信用農業協同組合連合会	
三重県農業協同組合中央会/三重県厚生農業協同組合連合会/全国農業協同組合連合会三重県本部/						
				全国共済農業協同組合連合会三重県本部		

【賛助会員】

楠谷 さゆり	今井 直哉	桶谷 猛之	佐野 勝俊	原田 幸子	島木 寛子	寛善一彦
林 竹生	直克俊郎	裕幸明哉	俊之	尚輔	吉安久	康安久
林 由和	敏斉	成行之	文子	彦輔	英恒孝	夫二之
石 潤人	克之	修大	正裕	彦視大	大史	幾文哲
南 寛一郎	良輔	和洋	裕	大隆	則壽	直直達
金森正弘	柴山直克	茂樹	太郎	久昌	二麿	友正
平井晴子	上田克	紀子	太郎	太浩	隆廣	彦浩
水坂英史	渉谷克	子	行之	正聰	広和	か樹
高橋孝範	上渉谷	博修	成	孝佳	吉和	彦己也
高橋寿美子	荒篠	大	正裕	康隆	秀宏	直秀
朝倉昭孝	木田大	豊樹	次	広和	常吉	英拓
山川英基	田川大	弘治	孝治	敏亮	孝敏	哲治
服部昭二	松詰間	吉	吉	亮徳	亮徳	陽平
諸向東	坂口間	一	文	繁誠	繁誠	大建
岡孝三	高坂	征	也	賢	賢	隆裕
岡孝晃	宮中	高	也	浩史	浩史	啓
林朋美	阿部佐	基	也	秀人	秀人	紀
江間正人	藤林若	伸	也	俊	俊	弘智
田中宣安	渡丹合	雅	真	介	俊	俊尚
谷辻慎太郎	近藤崎	晶	実	臣	秀	司
岡上重剛	川喜田	夏	則	也	直	直司
上村誠	吉井川	樹	真	剛	泰	秀
上村和英	島上	元	美	義	英	泰久
上田千将	石田	平	也	和	哲	俊輔
田中宜輝	富山端	井	明	哉	貴	
田村英樹	上野谷	藤井	也	哉	啓	
田村英徹	長野谷	吉	晃	哉	太	
田村直樹	山口	村	晃	也	晩	
田村祐司	野村	吉	知	也	直	
田英樹	松本	平	佐	也	人	

寺尾 裕昭	匿名希望 2名	(株)森田フードシステム(株)	(株)坂谷自動車工業	白子ウィメンズホスピタル			
(株)大津屋		(株)山口商会	(株)太暢金属	(医)祐康会 駒田医院			
田端創建(株)		栗田石油(株)	あづま診療所	(税)あおば会計			
荒川制服(株)			三重一般労働組合				
四日市合成(株)		三重トヨペット(株)					
【寄付】							
今井 富久翁	佐野 勝俊	新 晃弘	久保 早百合	大原 興太郎	真柄 幸司	鈴木 節子	橋本 幸司
長合 教実	子日 光雄	徳力 雅治	小山 光博	前川 浩一	須崎 和子	岩野 秀樹	岩野 学
宮下 昌幸	山田 淳	中尾 浩一	寺尾 正紀	福澤 紳一	渡邊 康人	北出 清人	北出 孝
伊藤 慎二	矢形 誠之	村木 陽介	樋口 浩二	杉本 和	永田 隆則	平井 昌史	平井 善
水谷 真一	尾崎 隆	土肥 良圭	原 幸久	掛樋 浩也	近藤 清晴	馬場 駿男	馬場 俊
滝川 充	渡部 春彦	森 智典	福谷 隆哉	伊藤 竜一郎	世古 中津	齋藤 直樹	齋藤 徹也
藤原 悟	川上 貢司	北澤 浩二	山本 英司	杉浦 雅和	清晴 中川	加藤 寿美	加藤 寿美
五十嵐 靖尚	浦出 雅人	山崎 計	平田 義仁	浦田 康寛	昌史 南部	西田 紀太	
奥田 光司	加藤 力敬	増田 達也	内田 恵敏	昌己 匿名希望	允 6名		
磐城 裕亮	篠田 幸司	練木 健一	梁川 恵子		ささおこどもクリニック		シンリョー特機(株)
角仙合同(株)	国際ソロプロチミスト三重		下津醤油(株)		牟婁合同運送(有)		(株)日宝堂
まつしまクリニック		三重県民共済生活協同組合					
(株)ケイディーエンジニア							

三重県信用農業協同組合連合会様30,000円

国際ソロプロチミスト三重様100,000円

匿名希望様300,000円

三重県民共済生活協同組合様100,000円

毎月11日 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加しています。

マックスバリュ東海株式会社幸せの黄色いレシートキャンペーン助成

6,200円相当商品を賜りました。(投函レシート金額618,773円の1%)

フレンテフェスタ2023(6/4)にてバザー売り上げ17,468円、募金4,030円頂戴しました。



会費・寄付のお願い

【郵便振替口座番号】00810-4-50997

【銀行振込口座番号】百五銀行 本店営業部 (普) 992998

【口座名義】特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会[会費]

正会員:年額一口 1万円 賛助会員:年額一口 3千円

【寄付】特に額を定めません*会費、寄付の区分のない場合は金額にて、会員登録させていただきます。ご了承ください。

広報委員より

初めて津まつりへのバザーの準備をして、自宅に帰ったら、バザー中止の連絡が来てがっかりしましたが、事務所でバザー商品を皆さんに購入いただき、目標金額を達成できて嬉しかったです。初めて第38回いのちの電話相談員全国研修会ふくしま大会で勉強できることに感謝いたします。三重いのちの電話相談員から8名参加した方々と交流できたこと、分科会で勉強してきたことを三重いのちの電話協会で活用していきたいと思います。(A.K)
 今まで毎日が当たり前のように思って過ごしてきましたが、今回の怪我による突然の入院生活でたくさんの気づきと学びを頂きました。私生活に於いても色々と大変な問題を抱えている方々にお会いしてきましたが、表面的な事しか気付かず、わかったつもりで何と心ない態度を取ってきたことか!又痛みの激しい時、気にかけてくれる皆が居てくれた事、一人じゃなかった事が痛みを乗り超える大きな力となりました。今回の経験を通して、真に寄り添えるよう、少しでも誰かの力になれることを目指して、お礼返しとしても、頑張っていきたいと思います。(F.S)
 2011年3月11日午後2時46分。あれから12年。福島を訪ね地元の人と歓談する。笑顔の後ろの本質を瞬間かすかに捉えた気がした。今年は各地で熊による被害が多いと聞く。90年代にヒグマに喰われて亡くなった、探検家星野道夫氏の言葉を今も時折思い出す。「人のこころは深くて、そして不思議なほど浅いのだと思います。きっと、その浅さで、人は生きて行けるのでしょうか」(K.S)

相談員さんに聞く

現役相談員の中で番号が一番若いAさんにお話を伺います。よろしくお願ひします。

今まで一緒にやってきた方々が一時にお辞めになって、私もいつどうなるかわからんと思えてきて、研修やこういう場で気づいたことや経験したことなどを伝えていかなあかんなっていう気にはなってきました。ありがとうございます。なかなか先輩のお話を聞く機会があるようで少ないのでよね。まず、この活動に入られて何年目ですか。

1期なんで何年でしょう。このまえ20周年記念をしたので。

記録を見ると2001年に1期生の養成講座が終了していますので、22年ですね。長いですね。

20年が長いかどうかは。30代40代の頃なら違うでしょうけど、私50年、60年前の記憶があるんですよ、最初の東京オリンピックが秋晴れの綺麗な空で行われてたなあととかね。そう思うとこの20年なんてあっという間。

そうですか。いのちの電話の最初の頃のことをお伺いしたいんですけど、1期生ということで、レールがまだ敷かれてない中を活動していくのって大変じゃなかつたですか。

野殿さんという方と、平松さんという方がある勉強会で一緒にになられて、そのお二人の出会いから、三重にもいのちの電話を作ろうということで、いろんな人の協力を得て三重いのちの電話が立ち上げられました。平松さんはお知り合いの方などに声をかけて、組織を作っていく中で、また活動の内容に関しては、名古屋のいのちの電話で活動されていた野殿さんが指導されていました。相談員として入った私たちは大変だったというよりは、言われることに従っていたという感じでした。

現在との違いはありましたか。

秘密厳守が強く言われていました。相談員同士でお茶を飲んで話したりすることもダメでした。同期同士のつながりとともに禁止されていました。けどそれはある意味気楽な面もありました。何処のだれそれではなくて、単なる個人として参加できるということが、気持ちよかったです。

今は変わっていますね。

個々で何かのつながりがあれば、例えば退会とかの話が出たときに、事情を聞いて、いったん休会を勧めたりできる。私も仕事が忙しかったり、少し疲れてきたときに3か月くらい休んだこともあります。そんな時に「もうそろそろ出てきてもいいんじゃない。」と声をかけてくれる人が居たから戻りました。それは有難かったです。自分の意志だけではなかなか続かないです。横のつながりは大事だと思います。

電話相談の内容についてはどうですか。

いろいろな話を聞かせてもらつてると、みんなすごいなと、ここまで真摯に人生に向き合って生きてきてるやなあと思って感動することがあって、それが一番続いた原因だと思います。もちろんそんな時ばかりではなくて、攻撃を受けて泣かされたり、電話を切れなくて長くなってしまったりということもあります。こちらからお礼を言えるような終わり方が今の目標です、それが良いのか悪いのかはわからないのですが。

これから後に続く相談員たちにアドバスをお願いできればと思います。

事柄に引っ張られすぎると疲れると思うので、頭で事柄を整理しつつ、その人がどう感じているのかを感じながら聞くと、もう少し楽になれると思うんです。苦しいとか、寂しいとか、みんなのことを信じられないとか、その時の気持ちを感じるようにして、その気持ちを聞き返すと、違っていても相手は返しやすい。事柄で確認すると違っていた場合、何を聞いてたん、となるから。気持ちを聞いていくと、作話にもだいぶ引っ張られないようになる。作話には事柄だけがあつて気持ちがないから。ただこれが良いかどうかわからないし、常に良いかどうかわからぬ。私はそうしているということです。

貴重なお話をどうもありがとうございました。

